|  |  |
| --- | --- |
| 響流の森　だより　（園長室だより）　　 | 平成 31年 4 月24日附属幼稚園　第1号発 行 者　八谷俊一郎 |
| 新園舎での生活がスタート待望の園舎が3月末に完成し、いよいよ、新年度から新園舎での生活が始まりました。15日の始園式では、今年も、始園式当日恒例の光景が見られました。子どもたちは、お父さんやお母さんに手を引かれ、約1か月振りの登園です。直ぐに、玄関に張り出している名前探しです。親子で、「私の名前はどこにあるのかな？」「私は何組かな？」お子様の名前を探した時の保護者の方のほっとされた顔が印象的でした。子どもの中には、「お母さんもお姉ちゃんも筑女幼稚園卒で、二人とも年中の時、同じ組だったので、私も絶対同じ組になりたいと思っていたら、本当に同じ組になってよかった」と、喜ぶ年中さんもいました。他にも、仲が良かった友達と一緒になった子、新しい友達をいっぱい作ろうと張り切る子など様々です。名前の前でパチリとカメラに収まる光景は、どこかの学校の合格発表を見るような感じでした。始園式では、子どもたちは、進級を喜び、これから始まる１年間に大きな期待を寄せています。３学期の修了式からわずか1か月しか経っていないのに、年中さんも年長さんも、みんな静かに、落ち着いて先生の話を聞くことができました。儀式では、必ず、園歌を歌うように決めていたので、今年度の始園式から、初めて、みんなで園歌を歌いました。新年中さんも、短期間でよく覚え、みんなで大きな声で歌うことができました。やはり、子どもたちは、素晴らしい秘めたる力を持っていることが分かります。式後、担任から新園舎での過ごし方について説明を受けていました。何分、初めてのことで、分からないことが多いだけに、過ごしながらルール作りをします。しかし、何時の時代でも、「よいことはよい、いけないことはいけない」を基本に指導をしていきたいと思います。I:\DCIM\100NCD60\DSC_0047.JPG | 81人のお友達、入園おめでとうG:\2019-04-17 平成31年度入園式\平成31年度入園式 163.JPG　暖かい春の日に、今年もたくさんの新しい友達が入園してきました。昨年の秋に植え替えた金魚草やノースポールの花が、美しく咲き乱れ、子どもたちの入園を祝っているかのようでした。今年度は、年少さんに男子37名、女子41名の計78名、年中さんに男子2名、女子1名の計3名の入園がありました。年少さんのほとんどが、たんぽぽ学級からの進級でしたから、よく見かける子どもたちや保護者の方でしたから、私は、あまり緊張せずに、園長として、4つの約束について楽しく話をすることができました。子どもたちも、私の話を真剣に聞いていましたので、「今年の子どもたちは、ちょっと違うぞ」という印象を持ちました。子どもたちは、真顔で「御仏様、お早うございます」と挨拶の練習を上手にしました。翌日からの2日間は、新入園児さんだけの登園日でしたが、玄関前で、みんな上手に「御仏様、お早うございます」と拝んでいました。さすがです。バス・キャッチ導入に期待を　新しい時代に対応した設備を整えた新園舎の完成を機会に、幼稚園も「不易と流行」の流行の部分も検討する時期が来ました。プロジェクターや電子黒板を使った教育（保育）をどう進めるか。大きな期待であり課題でもあります。また、バス・キャッチ・システムの導入です。これまで、当日の朝8時過ぎに、変更届の電話が鳴りっぱなしで対応が大変でしたので、その解消を図るために導入しました。これにより、事前に遅刻や欠席、バス変更の連絡を事前に受け付けることが可能となりました。むしろ、直前だと変更が難しい状況です。操作に慣れるまでの当分の間、保護者の皆様にはご迷惑をお掛けすることになりますが、なにとぞご理解とご協力をお願いします。 |